

# 洪水編

## 1. 洪水とは

洪水には、川の堤防が壊れたり、水位が堤防をあふれたりして発生する外水はん濫と、降った雨が下水道や水路から大きな川へ水が流れにくくなってあふれる、内水はん濫があります。

## 2. 洪水ハザードマップについて

本冊子掲載の洪水ハザードマップは、竹田川、観音川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合の外水はん濫を対象として推計した結果を示しています。

想定している大雨は、約 1,000 年に 1 回程度起こる可能性のある想定最大規模降雨と約 30 年～ 150 年に 1 回程度起こる可能性のある計画規模降雨です。

雨の降り方や土地の状態、小河川のはん濫などによってそれ以外の地区も浸水することがありますので、日頃から家の周りの浸水状況に注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。

## 3. 気象予報の種類と発表基準

福井地方気象台が発表する警報には次のようなものがあります。

	表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準(最小値)	流域雨量指数基準
<b>大雨警報</b>	16	108	—
<b>洪水警報</b>	16	—	観音川＝ 7.7 宮谷川＝ 7.7 熊坂川＝ 6.0






※土壌雨量指数：土壌中に貯まっている雨水の量を示す指数

※流域雨量指数：対象となる地域・時刻に存在する流域の雨水の量を示す指数

## 4. 雨の降り方の程度

気象情報が確認できないときには、雨の降り方に注意しましょう。

特に 1 時間 20mm 以上、連続 100mm 以上の雨には注意が必要です。

				
<b>やや強い雨</b>	<b>強い雨</b>	<b>激しい雨</b>	<b>非常に激しい雨</b>	<b>猛烈な雨</b>
1 時間雨量 10～20mm ・ザーザーと降ります。	1 時間雨量 20～30mm ・どしゃ降りです。	1 時間雨量 30～50mm ・バケツをひっくり返したように降ります。	1 時間雨量 50～80mm ・滝のように降ります。	1 時間雨量 80mm 以上 ・息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。
・この程度の雨でも長く続くとときは、注意が必要です。	・側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まります。	・山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要です。	・土石流が起こりやすく、多くの災害が発生します。	・雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

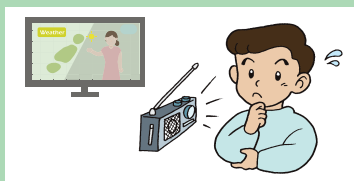
## 5. 洪水発生時の避難の心得

雨の降り方や報道などに注意して、河川がはん濫（洪水）する前に避難しましょう！

### 正確な情報収集と浸水前に避難を

ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。

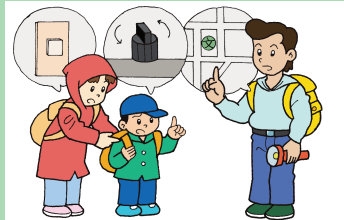
雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



### 避難する前に

避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。

また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



### 避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、市や消防本部（団）から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに貴重品や食料等を持って避難して下さい。



### 車での避難は控え、徒歩で避難を

車での避難は、浸水すると動けなくなったり、交通渋滞を招くおそれがあります。避難するときは、徒歩で避難しましょう。また、動きやすい格好で2人以上での避難を心がけましょう。



## 6. 逃げ遅れたときは

### 水の勢いに注意を！

堤防から流れ出た水は、流れが速く、水かさが高くなると、木造建築物などは破壊・流出する恐れがありますので、早めに避難しましょう。



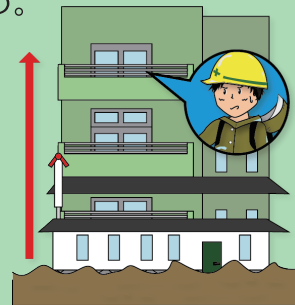
### 高い道路を通りましょう！

避難はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路、地盤の低いところに十分注意しましょう。



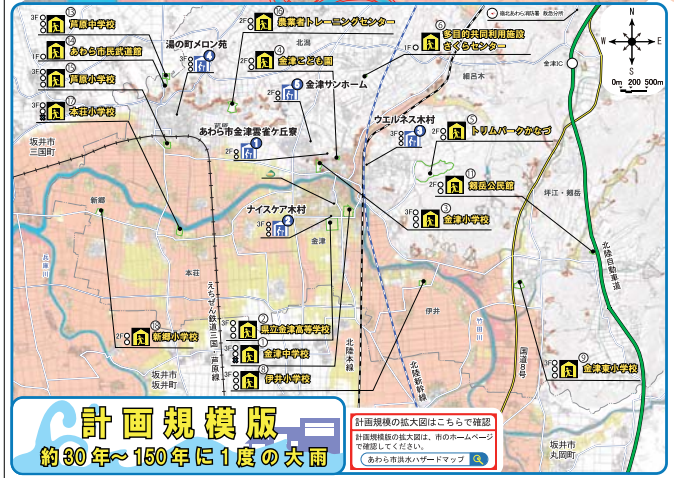
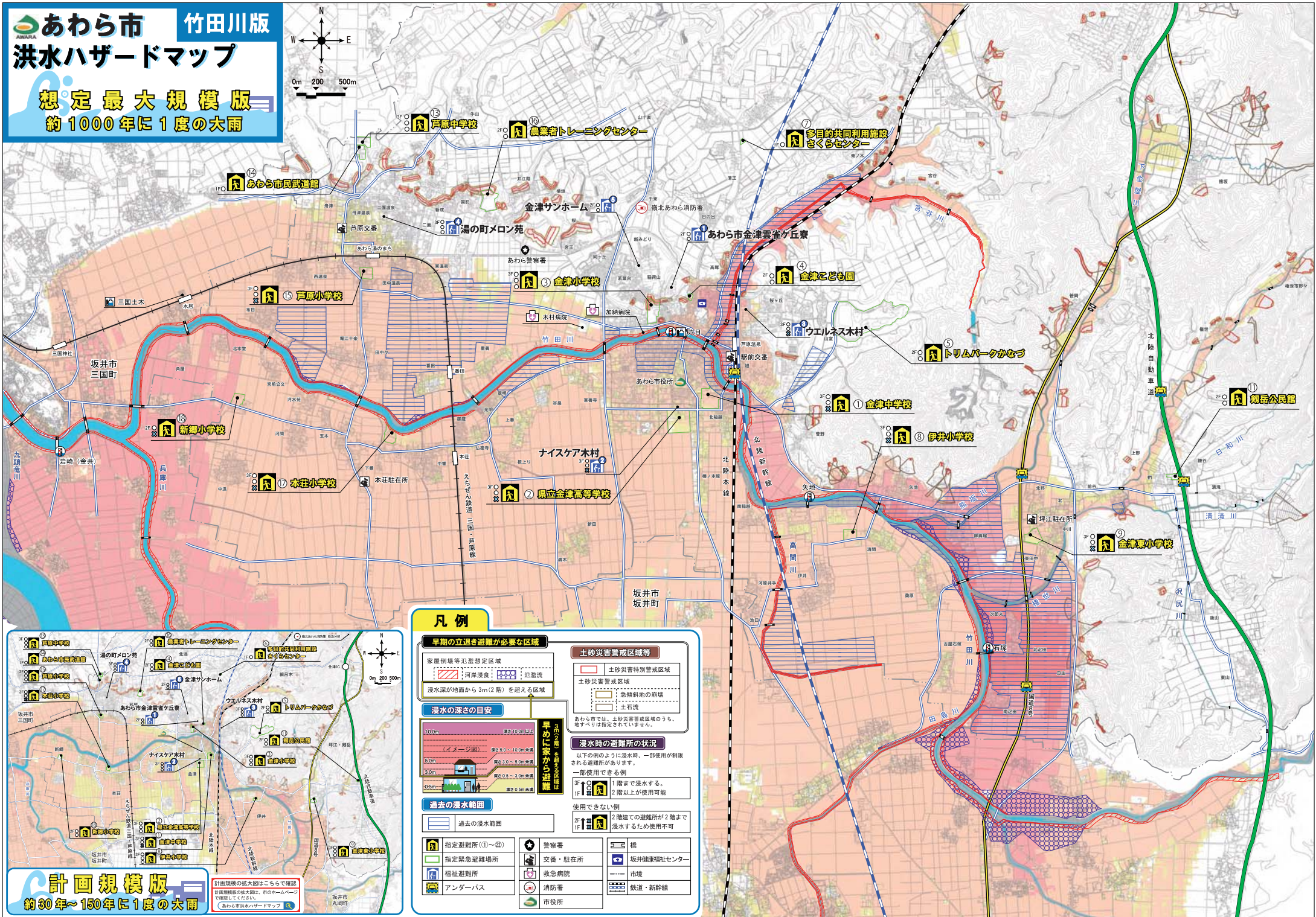
### 万が一、逃げ遅れたときは！

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときには、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。また、自宅で逃げ遅れたときには、電話、懐中電灯、発炎筒などで居場所を知らせ、救助を待ちましょう。



# あわら市 竹田川版 洪水ハザードマップ

想定最大規模版  
約1000年に1度の大雨



### 凡例

**早期の立退き避難が必要な区域**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河原浸食
- 氾濫流

浸水深が地面から3m(2階)を超える区域

**土砂災害警戒区域等**

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
- 土石流

あわら市では、土砂災害警戒区域のうち、地すべりは指定されていません。

**浸水の深さの目安**

10.0m	浸水10.0m以上
5.0m	浸水5.0m～10.0m未満
3.0m	浸水3.0～5.0m未満
0.5m	浸水0.5～3.0m未満
0.5m	浸水0.5m未満

**早期に家から避難**

**過去の浸水範囲**

- 過去の浸水範囲

**指定避難所(①～⑫)**

- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- アンダーパス

**橋**

- 警察署
- 交番・駐在所
- 救急病院
- 消防署
- 市役所

**浸水時の避難所の状況**

以下の例のように浸水時、一部使用が制限される避難所があります。

一部使用できる例

- 1階まで浸水する。1F
- 2階以上が使用可能

使用できない例

- 2階建ての避難所が2階まで浸水するため使用不可

**橋**

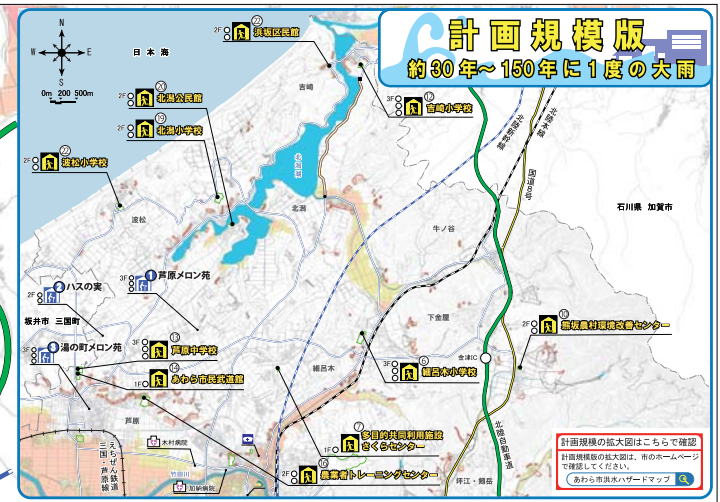
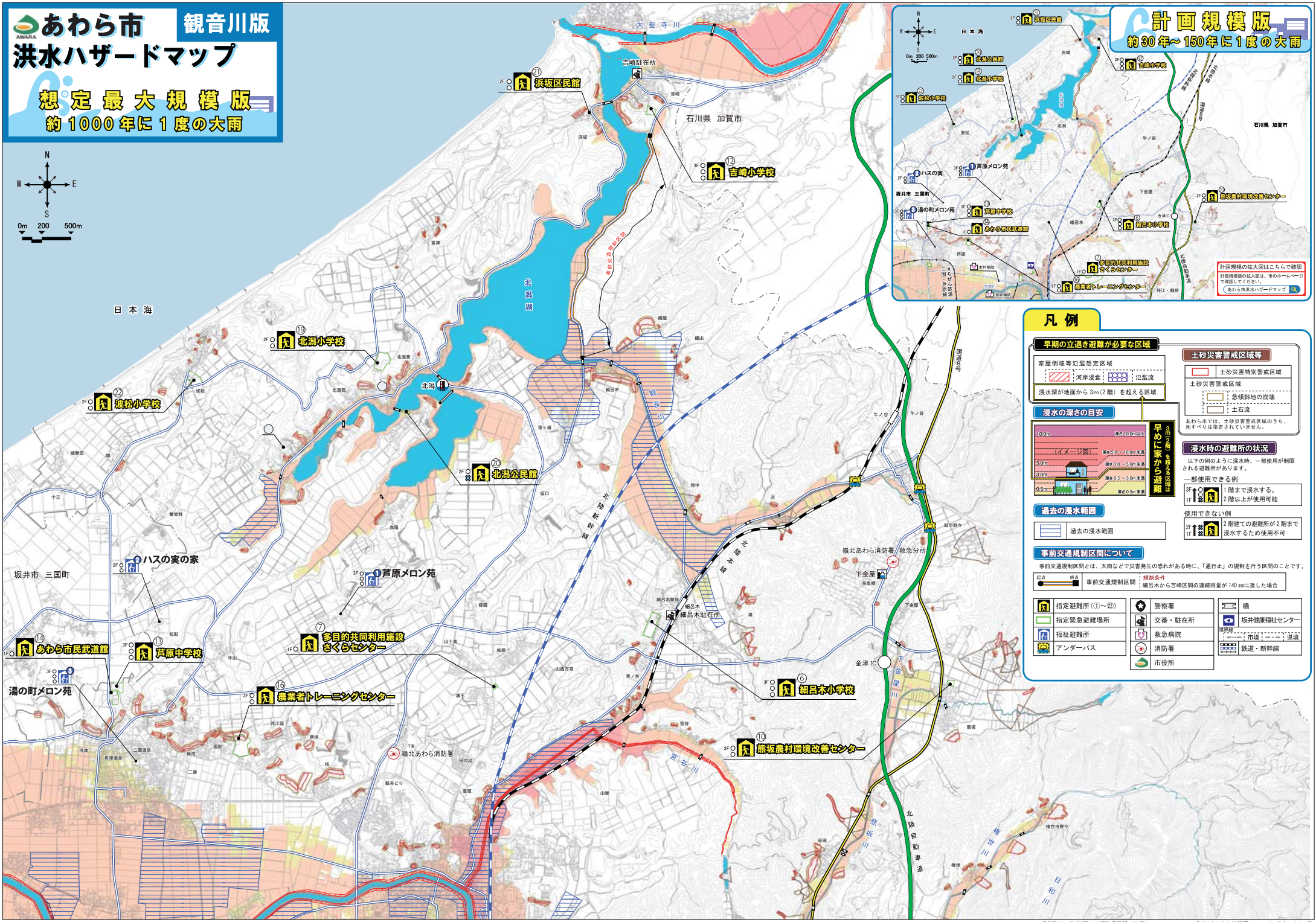
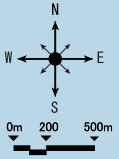
- 橋
- 市境
- 鉄道・新幹線

計画規模版  
約30年～150年に1度の大雨

計画規模の拡大図はこらで確認  
計画規模の拡大図は、市のホームページで確認してください。  
あわら市洪水ハザードマップ

# あわら市 観音川版 洪水ハザードマップ

想定最大規模版  
約1000年に1度の大雨



### 凡例

**早期の立ち退き避難が必要な区域**

家屋倒壊等危険想定区域  
 浸水深が地面から3m(2階)を超える区域

**土砂災害警戒区域等**

土砂災害特別警戒区域  
 土砂災害警戒区域  
 急傾斜地の崩壊  
 土石流

**浸水の深さの目安**

11.0m 浸水深11.0m以上  
 3.0m 浸水深3.0~10.0m未満  
 3.0m 浸水深3.0~5.0m未満  
 0.5m 浸水深0.5~3.0m未満  
 0.5m 浸水深0.5m未満

**浸水時の避難所の状況**

あわら市では、土砂災害警戒区域のうち、地すべりは指定されていません。

以下の例のように浸水時、一部使用が制限される避難所があります。

一部使用できる例  
 3F 1階まで浸水する  
 1F 2階以上が使用可能

使用できない例  
 2F 2階での避難所が2階まで  
 1F 浸水するため使用不可

**過去の浸水範囲**

過去の浸水範囲

**事前交通規制区間について**

事前交通規制区間とは、大雨などで災害発生の恐れがある時に、「通行止」の規制を行う区間のことです。

事前交通規制区間：規制条件  
 事前交通規制区間：観音木から吉崎区間の連続雨量が140mmに達した場合

指定避難所(①~⑫)	警察署	橋
指定緊急避難場所	交番・駐在所	坂井健康福祉センター
福祉避難所	救急病院	河原
アンダーパス	消防署	市境
	市役所	鉄道・新幹線